

認知症初期集中支援チーム 上半期実績報告と検討事項

1 認知症初期集中支援チーム

【目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

【事業内容】

認知症に係る専門的な知識・技術を有する医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問、観察・評価、家族支援等の初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うものとする。

【認知症初期集中支援チーム検討委員会の設置】

市町村は、医療・保健・福祉に携わる関係者等から構成される「認知症初期集中支援チーム検討委員会」を設置するとともに、検討委員会が関係機関・団体と一体的に当該事業を推進していくための合意を得られる場となるよう努めること。

2 認知症初期集中支援チームにおける活動目標と取り組み状況

目標	取り組み	取り組み状況
かかりつけ医との連携体制を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・医師へのチームの説明・周知を行う。（チームの周知を含めた事例集の配布） ・ケース支援を通じて、チームについて知っていただく。 	<p>【上半期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員研修会にて、支援チームへの情報提供について説明 ・ケース支援を通じてかかりつけ医と情報共有を行った。
相談及び情報提供の件数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援チームへの情報提供先に介護支援専門員を追加する（BPSDの悪化、サービス中断のケース等を想定） ・介護支援専門員への周知を行う。 ・各包括からの情報提供における指標を整理する。 	<p>【今後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例集作成に向けた事例の整理を進めており、今年度中に作成をする。※別添資料（事例集を医師だけでなく、包括、介護支援専門員に提示することで、支援チームがどのような支援を行うのかの理解が得やすくなるため、情報提供件数が増加する可能性がある）

3 令和元年度活動実績（上半期）報告 資料 1-1